

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 8 月 7 日

横浜地方裁判所横須賀支部

裁判所書記官 伊 藤 郷 子

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 8 月 28 日 午前 9 時 00 分から 令和 7 年 9 月 4 日 午後 5 時 00 分まで
開札期日	日 時 令和 7 年 9 月 11 日 午前 10 時 00 分 場 所 横浜地方裁判所横須賀支部売却場
売却決定 期日	日 時 令和 7 年 10 月 2 日 午前 10 時 00 分 場 所 横浜地方裁判所横須賀支部
特別売却 実施期間	令和 7 年 9 月 19 日 午前 10 時 00 分から 令和 7 年 9 月 19 日 午後 0 時 00 分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規 則 33 条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 8 月 7 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 横須賀市長沢二丁目 1811 番地 3

建物の名称 グレイスヒル湘南野比

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 長沢二丁目 1811 番 3 の A301

建物の名称 A301

種 類 居宅

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 3 階部分 63.02 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 横須賀市長沢二丁目 1811 番 3

地 目 宅地

地 積 3478.20 平方メートル

土地の符号 2

所在及び地番 横須賀市長沢二丁目 1812 番 10

地 目 公衆用道路

地 積 47 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1・2

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 60 万 2170 分の 6723



物 件 明 細 書

令和 7年 6月 5日

横浜地方裁判所横須賀支部

裁判所書記官 伊 藤 郷 子

1 不動産の表示

【物件番号1】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号1】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

管理費等の滞納あり。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 横須賀市長沢二丁目 1811 番地 3

建物の名称 グレイスヒル湘南野比

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 長沢二丁目 1811 番 3 の A301

建物の名称 A301

種 類 居宅

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 3 階部分 63.02 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 横須賀市長沢二丁目 1811 番 3

地 目 宅地

地 積 3478.20 平方メートル

土地の符号 2

所在及び地番 横須賀市長沢二丁目 1812 番 10

地 目 公衆用道路

地 積 47 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1・2

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 60 万 2170 分の 6723



令和 6年(ケ)第 60号
令和 6年11月20日受理
令和 6年12月27日提出

現況調査報告書

横浜地方裁判所横須賀支部

執行官 松村平仁

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 横須賀市長沢二丁目 1811 番地 3

建物の名称 グレイスヒル湘南野比

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 長沢二丁目 1811 番 3 の A301

建物の名称 A301

種 類 居宅

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 3 階部分 63.02 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 横須賀市長沢二丁目 1811 番 3

地 目 宅地

地 積 3478.20 平方メートル

土地の符号 2

所在及び地番 横須賀市長沢二丁目 1812 番 10

地 目 公衆用道路

地 積 47 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1・2

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 60 万 2170 分の 6723



不 動 産 の 表 示	「物件目録」のとおり	
住 居 表 示	横須賀市長沢二丁目26番1-C301号	
建 物	物件1	
種類、構造及び 床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる (☐ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種 類 : ☐ 構 造 : ☐ 床面積 :	
物件目録にない 附 属 建 物	☒ ない ☐ ある { 種 類 : 構 造 : 床面積 :	
占 有 者 及 び 占 有 状 況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を住居として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
管理費等の状況	☒ 別紙回答書のとおり 管 理 費 円 修繕積立金 円 円 円 円	平成 年 月 日現在 ☐ 滞納はない ☐ 滞納がある 平成 年 月分～ 年 月分 計 円 ☐ 不明
管理費等照会先	大和ライフネクスト株式会社	
そ の 他 の 事 項		
敷 地 権	符号1、2	
現 況 地 目	☒ 宅地 (符号1) ☒ 公衆用道路 (符号2)	
形 状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☒ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☐	
敷 地 権 の 種 類	☒ 所有権 (符号1、2) ☐ 地上権 (符号) ☐ 賃借権 (符号) ☐ (符号)	
そ の 他 の 事 項		
執 行 官 保 管 の 仮 処 分	☒ ない [地方裁判所 支部 平成 年 () 第 号 ☐ ある [保管開始日 平成 年 月 日	
敷地権以外の土地 (目的外土地)	☒ ない ☐ ある (詳細は「目的外土地の概況」のとおり)	
土地建物の位置関係	☒ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

回 答 書

(該当事項の□に「✓」印を付してください。)

1 管理費等の額及び滞納額は次のとおりです。

※管理規約、集会決議等で、区分所有法により特定承継人行使できる債権とされたものを記載してください。

令和 6 年 12 月 19 日現在

☒ 管理費	月額	10,600 円	☒ 滞納額	116,600 円
☒ 修繕積立金	月額	13,446 円	☒ 滞納額	147,906 円
☐	月額	円	☐ 滞納額	円
☐	月額	円	☐ 滞納額	円
☒ 損害金	年	14.6 %	☒ 金額	17,453 円
☒ 滞納期間	平成 6 年 2 月分～平成 6 年 12 月分 令和 令和			

2 上記 1 以外の特定承継人行使できない債権で、徴収されている費用は次のとおりです。

☐	月額	円	☐ 滞納額	円
☐	月額	円	☐ 滞納額	円
☐	月額	円	☐ 滞納額	円

3 管理費、修繕積立金以外について、特定承継人行使できる債権であることを定めた次の資料（コピー）を提出する。

☒管理規約 ☐議事録 ☐

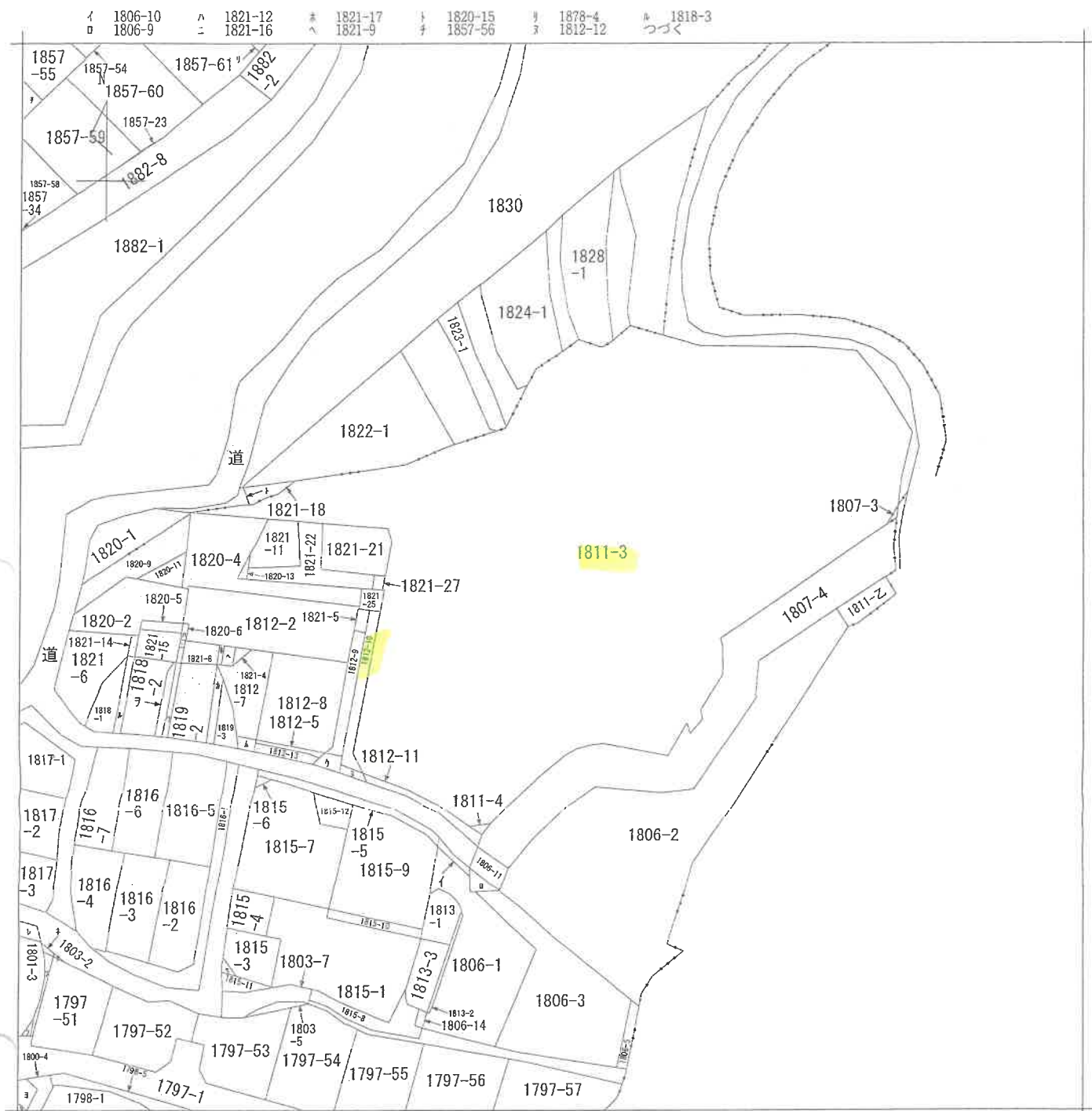
関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■マンション管理人	1 このマンションは、センターコートとサウスコートがあります。本件建物は、センターコートにあるのでC 3 0 1 号室と表示されます。サウスコートの部屋はSが付きます。
■A (所有者)	1 本件建物は、平成10年8月に新築物件として購入したもので、私が家族と共に住居として使用しています。 2 犬猫等のペットは飼っていません。 3 雨漏り水漏れ等の建物使用上の不具合はありません。 4 換気扇を5、6年前に交換しました。 以 上

執行官の意見
1 関係人の陳述および立入調査の結果によれば、本件建物は、所有者が家族と共に住居として使用していることが認められる。 2 洋室のクローゼットは扉が外されていた。和室の障子や襖は破れや傷が認められた。網戸は破れた状態で外されていた。 3 評価人の調査によれば、本件一棟の建物の敷地（符号1の土地）は、南東側、南側で建築基準法上の道路である市道に接している。また、西側では、建築基準法上の道路である私道（符号2の土地）に接している。 以 上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
令和6年11月26日(火) 15:00-15:20	目的物件所在地	外観調査 写真撮影 施錠不在 通知書差置 マンション管理人から事情聴取
令和6年12月10日(火) 14:40-14:50	目的物件所在地	施錠不在 解錠予告通知書差置 外観調査 写真撮影
令和6年12月13日(金) : - :	書面照会 (FAX)	管理会社に照会書送付
令和6年12月16日(月) 16:00-16:10	横浜地方法務局 横須賀支局	記載事項証明書交付申請
令和6年12月18日(水) 14:30-15:00	目的物件所在地	立入調査(解錠) 写真撮影 所有者から電話で事情聴取 [評価人同行]
令和 年 月 日() : - :		
令和 年 月 日() : - :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☒ 令和 6 年 1 2 月 1 8 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人Bを立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



A 野比2丁目
B 長沢3丁目
C 長沢3丁目

請求部	所在	横須賀市長沢二丁目			地番	1811番3		
出力縮尺	1/600	精度区分	座標系番号又は記号	分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日(原図)			補記事項	

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

本図面は、A3判をA4判に縮小したものである。

令和6年10月3日
横浜地方法務局横須賀支局
登記官

請求番号：36-2
(1/2)

(b 枚目)

ヲ 1819-1
ワ 1819-4
カ 1819-5
コ 1800-3
タ 1800-4
レ 1801-2
ゾ 1801-4
ツ 1802-3
ネ 1803-6
ナ 1803-4
ア 1815-2
ム 1812-4
リ 1812-6

本図面は, A3 判を A4 判に縮小したものである。

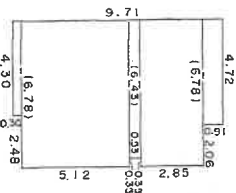
ကမ္ဘာ့ဥပဒေ

請求番号: 36-1

292940 各階平面図

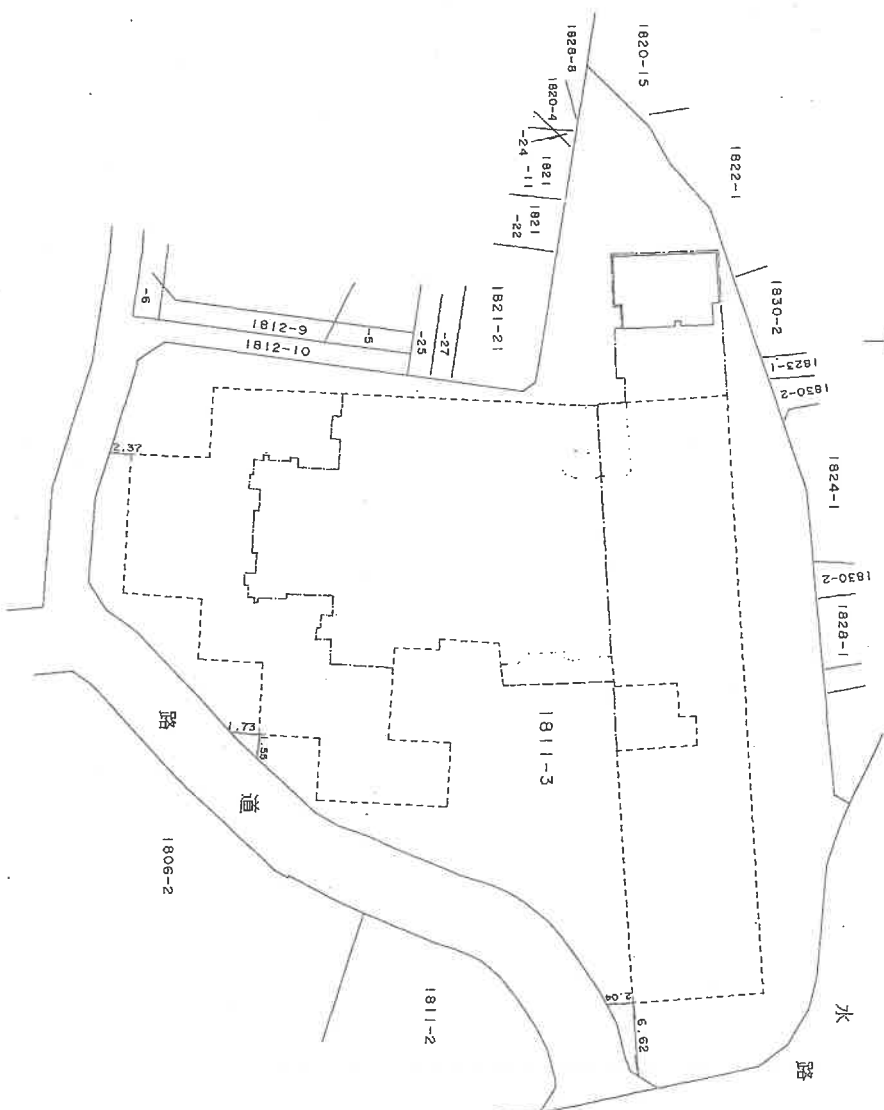
家屋番号	1811番3のA301
建物の所在	横須賀市長沢2丁目1811番地3

3 階部分



床面積

0.910 ×	4.720 =	4.295200
2.850 ×	6.780 =	19.323000
0.530 ×	6.430 =	3.407900
5.120 ×	5.780 =	34.713600
0.300 ×	4.300 =	1.290000
計		63.029700
		63.02



(日 謝 連 12)

并

— 8 日作製)

盜

$$\frac{1}{250}$$

人請申

縮尺

$$\begin{array}{r} 1 \\ \hline 500 \end{array}$$

本図面は、A3 判を A4 判に縮小したものである。

(8 枚目)

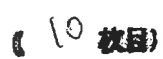
10-1-23

(←○は写真撮影位置・方向)



(←○は写真撮影位置・方向)

(←○は写真撮影位置・方向)





1

本件一棟の建物の外観



2



3



4

令和6年(ケ) 第 60 号
令和6年12月 18 日 現地調査
令和7年 1月 8 日 評 価

横浜地方裁判所横須賀支部

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

黒羽 聡

第 1 評価額

物件番号	評 価 額
1	金 11,180,000円

第 2 評価の条件

1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。

2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。

3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。

4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法 58 条 4 項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	登 記	現 況
1	次頁物件目録記載のとおり	住居表示：長沢2-26-1-C301
特 記 事 項		
なし		

* 現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じである。

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 横須賀市長沢二丁目 1811 番地 3

建物の名称 グレイスヒル湘南野比

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 長沢二丁目 1811 番 3 の A301

建物の名称 A301

種 類 居宅

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 3 階部分 63.02 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 横須賀市長沢二丁目 1811 番 3

地 目 宅地

地 積 3478.20 平方メートル

土地の符号 2

所在及び地番 横須賀市長沢二丁目 1812 番 10

地 目 公衆用道路

地 積 47 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1・2

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 60 万 2170 分の 6723



第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（符号1、2）

位 置 ・ 交 通	京浜急行線「Y R P 野比」駅の南約450m（道路距離）に位置する。	
付 近 の 状 況	マンション、一般住宅等が建ち並ぶ住宅地域。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 （道路の幅員等の 個別的な規制を考 慮しない一般的な 規制）	都市計画区分 用 途 地 域 建 ぺ い 率 容 積 率 防 火 規 制 立地適正化計画 その他の規制	市街化区域 第1種中高層住居専用地域 60% 200% 準防火地域 都市機能誘導区域外 居住誘導区域内 第1種高度地区 宅地造成工事規制区域 屋外広告物規制地域
画 地 条 件 （規模，形状等）	規 模 形 状 間 口 ・ 奥 行 地 勢	3,478.20㎡（符号1） 不整形 南北幅約80m、東西幅約95m 敷地内の宅盤は概ね平坦、北東側に隣接する河川、南側道路の一部よりは高い。
接面道路の状況	① 南東側で幅員約6m市道（建築基準法第42条1項1号） ② 南側で幅員約4m市道（建築基準法第42条1項1号） ③ 西側で幅員約4m私道（建築基準法第42条1項5号） に等高乃至高く接面する。	
土地の利用状況等	対象専有部分を含む一棟の建物の敷地等として利用。	
供 給 処 理 施 設	上水道	あり
	都市ガス	あり
	下水道	あり
敷 地 権 の 表 示	敷地権の種類	所有権
	敷地権の割合	60万2170分の6723
特 記 事 項	・ 津波浸水想定区域（敷地の北乃至東） ・ 符号2は不特定多数の通行用に供する道路である。	

2 建物の概況

(1) 一棟の建物の概要

マンション名	グレイスヒル湘南野比	
建物の用途	住宅・総戸数82戸	
建築時期及び経済的 残存耐用年数	建築年月日	平成9年10月15日（登記記載）
	経過年数	約28年
	経済的残存耐用年数	約27年
構造・延床面積	鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階付7階建 延べ8,242.07㎡	
仕様	屋根：陸屋根 外壁：タイル	
設備	エレベーター、集合郵便受、駐車場、ゴミ置場、集会所、駐輪場、オートロック等	
建物の品等	使用資材	普通
	施工	普通
管理の形態等	管理組合	あり
	管理方式	全部委託
	管理会社	大和ライフネクスト（株）
	管理形態	日勤
管理の状況	普通	
特記事項	特にない	

(2) 専有部分の概要

構	造	鉄骨鉄筋コンクリート造1階建		
位	置	3階(A301号室：登記)、角部屋 主要開口部の方位：西向き		
床	面	積	63.02㎡（登記面積）	
間	取	り	2LDK	
バルコニー等		あり		
保守管理の状態		劣る		
管 理 費 等		管理会社の回答によれば下記のとおり。 令和6年12月19日現在		
			月額(円)	滞納額(円)
		管 理 費	10,600	116,600
		修 繕 積 立 金	13,446	147,906
		備考	損害金 17,453 円 年率 14.6%	
専 有 部 分 の 利 用 状 況 等		令和6年12月18日：内部立入調査 所有者が住居として使用している。		
特 記 事 項		・ 建築後約28年経過しており、各所の劣化、損傷、汚れが見られる。洋室のクローゼットの扉が外されており、リビングの網戸は破れた状態で外されていた。		

第5 評価額算出の過程

積算価格、比準価格及び収益価格をそれぞれ求め、試算価格を調整のうえ、評価額を後記のとおり決定した。

1 積算価格の試算

建物の価格に、敷地権価格を加算して、積算価格を試算した。

(1) 建物価格

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて建物価格を求めた。

再調達原価 (円/㎡)	専有面積 (㎡)	専有率	現 価 率	建 物 価 格 (円)
350,000	×63.02	÷0.68	×0.39	=12,650,000

専有率：共用部分も含む現況床面積に対する割合

現価率：経過年数 28 年、経済的残存耐用年数 27 年、

観察減価率(中古マンションの市場性等含む) 20%

：耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、現価率を下記のとおり査定した。

$$\text{現価率} = \frac{\text{経済的残存耐用年数 27 年}}{(\text{経過年数 28 年} + \text{経済的残存耐用年数 27 年})} \times (1 - 0.2) = 0.39$$

(2) 敷地権価格（符号 1、2 の土地）

敷地権の目的である土地の敷地権価格を次の通り求めた。

符号	標準画地 (円/㎡)	個別 格差	更地価格 (円/㎡)	地 積 (㎡)	建付 減価	敷地権割合	敷地権価格 (円)
1	105,000	×1.3	137,000	×3,478.20	×1.0	$\times \frac{6,723}{602,170}$	=5,320,000
2	105,000	×0.05	5,250	×47	×1.0	$\times \frac{6,723}{602,170}$	=3,000
合 計							=5,323,000

標準画地価格：標準画地価格は下記の規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して決定した。

公示地 横須賀 5-11

$$\begin{array}{ccccccc}
 & & \text{標準化} & & & & \\
 \text{地価公示価格等} & \text{時点修正} & \text{補 正} & \text{地域格差} & \text{標準画地価格} & & \\
 179,000 \text{ 円/㎡} & \times \frac{100}{100} & \times \frac{100}{100} & \times \frac{100}{170} & = & 105,000 \text{ 円/㎡} &
 \end{array}$$

◇時点修正：令和 6 年 1 月 1 日から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：公示地は標準的画地で補正の必要はない。

◇地域格差：公示地の所在する地域は対象地域に比べ街路条件、接近条件、環境条件、行政条件等の総合格差で上記の通り。

個別格差：符号 1 はマンション適地で、符号 2 は道路として上記のとおり。

地積：登記数量

建付減価：なし

敷地権割合：登記上の敷地権割合による。

(3) 積算価格（敷地権付建物の価格）

前記で求めた基礎となる建物価格と敷地権価格を合算した額に、所要の修正を行った上、積算価格を求めた。

建物価格（円）	敷地権価格（円）	個別格差 （階層・位置・品等程度）	積算価格（円）
12,650,000	+5,323,000	×1.01	=18,150,000

個別格差：階層別補正、位置別補正などの総合格差で上記の通り

階層別補正：1.0(3階)

位置別補正：1.01(角部屋)

その他補正：1.0

相乗積 $1.0 \times 1.01 \times 1.0 = 1.01$

2 比準価格の試算

基準階の比準 価格（円/㎡）	個別格差 （階層・位置・品等程度）	その他の 個別格差	専有面積 （㎡）	比準価格(円)
271,000	×1.01	×1.0	×63.02	=17,250,000

基準階の比準価格：近隣地域・同一需給圏内の類似地域にある同類型の区分所有建物の取引事例等を収集・分析し、各種補正及び価格形成要因の比較を行って、基準階専有部分の1㎡当たりの比準価格を査定した。

個別格差：積算価格の個別格差に同じ。

その他の個別格差：なし

3 収益価格（DCF法による）

目的物件を賃貸することにより分析期間中に得られるであろうと予測される正味純収益の現価の合計額に、分析期間末の正味復帰価格の現価を加算して、DCF法（Discounted Cash Flow法）による価格を以下の通り査定した。

DCF法による価格査定表

(この表で採用している数字や指数は確定値ではなく、且つ買受人に保証しているものでもない)

3年間の 有効純収益 現価の合計 円	正味復帰価格の現価					DCF法 による価格 (円)
	4年目期 首有効純 収益 (円)	最終 還元 利回 り	3年目期末 復帰価格 (円) $\text{イ} \div \text{ウ} \times (1 - 0.03)$ ※1 エ	複利 現価率 ※2 (6.7%) オ	正味復帰 価格の現価 (円) エ × オ カ	
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア + カ キ
732,706 (9.7%)	611,295	7.2%	8,235,502 = 8,240,000	0.8232	6,783,168 (90.3%)	7,515,874 = 7,520,000 (100%)

※1 売却に要する仲介手数料等を売却価格（イ÷ウ）の3%と査定した。

※2 複利現価率：複利現価率に用いる還元利回りは一般市場における収益物件の標準的な還元利回りを基準として決定した。

ア：目的物件を賃貸することにより保有期間中（第1期～第3期）に得られるであろうと予測した各期の正味純収益を現在価値に割り引いた額の合計である。

イ：保有期間末（第4期期首）の正味純収益である。売却準備完了後の目的物件の収益力を明示している。

ウ：4年目の正味純収益から売却予測価格を求める還元利回りであり、標準的還元利回りに目的物件の個別リスクを考慮して査定した。

エ：4年目の正味純収益を最終還元利回りで還元して求めた売却予測価格から対象不動産の売却に伴う仲介手数料相当額を控除した額である。

オ：一般市場及び競売市場における類型別収益物件の標準的な還元利回り等を参考に査定した。

カ：売却予測価格の手取り価格に複利現価率を乗じて（割り引いて）求めた売却予測価格（手取り価格）の現在価値である。

キ：保有期間中の正味純収益の現価の合計(ア)に売却予測価格の現価(カ)を合算して、目的物件のDCF法による収益価格を結論付けている。

4 評価額の判定

(1) 試算価格の調整

以上により積算価格、比準価格、収益価格が求められた。マンション取引が多くみられることから、市場の実勢を反映した比準価格を重視し、積算価格を関連づけ、収益価格を参考として所要の調整を行ったうえ、調整後の価格を以下の通り求めた。

加重平均割合 積算価格：40 比準価格：50 収益価格：10

	占有減価修正前の 試算価格（円）	占有減価修正	試算価格（円）
積算価格	18,150,000	×1.00	= 18,150,000
比準価格	17,250,000	×1.00	= 17,250,000
収益価格	7,520,000		
調整後の価格			16,640,000

占有減価修正 なし

(2) 評価額の判定

調整後の価格 （円）	市場性 修 正	競売市場 修 正	滞納管理費 等相当額の 減価	その他の控 除減価（敷 金等・円）	評 価 額 （円）
16,640,000	×1.0	×0.7	×0.96	— 0	=11,180,000

市場性修正：なし

競売市場修正：評価条件記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

滞納管理費等相当額の減価：滞納管理費等の控除割合は、管理費・修繕積立金滞納額の元本のみを基礎に4%と求めた。

その他の控除減価（敷金等）：なし

第6 参考価格資料

1 地価公示：横須賀 5-11

所 在：横須賀市野比 1 丁目 452 番 152 外 「野比 1-18-8」

価 格：179,000 円／㎡

位 置：京急線「Y R P 野比」駅約 200m

価 格 時 点：令和 6 年 1 月 1 日

地 積：221 ㎡

供給処理施設：水道、ガス、下水

接 面 道 路：西 12m 県道

用途指定等：近隣商業地域(建ぺい率 80%，容積率 200%) 準防火地域

地域の概要：県道沿いに小売店舗の建ち並ぶ路線商業地域

2 固定資産税評価額（令和 6 年度）

物件 1（建物） 6,924,700 円

符号 1（土地） 197,433,000 円（敷地権割合 60 万 2170 分の 6723）

符号 2（土地） 0 円（敷地権割合 60 万 2170 分の 6723）

第7 附属資料の表示

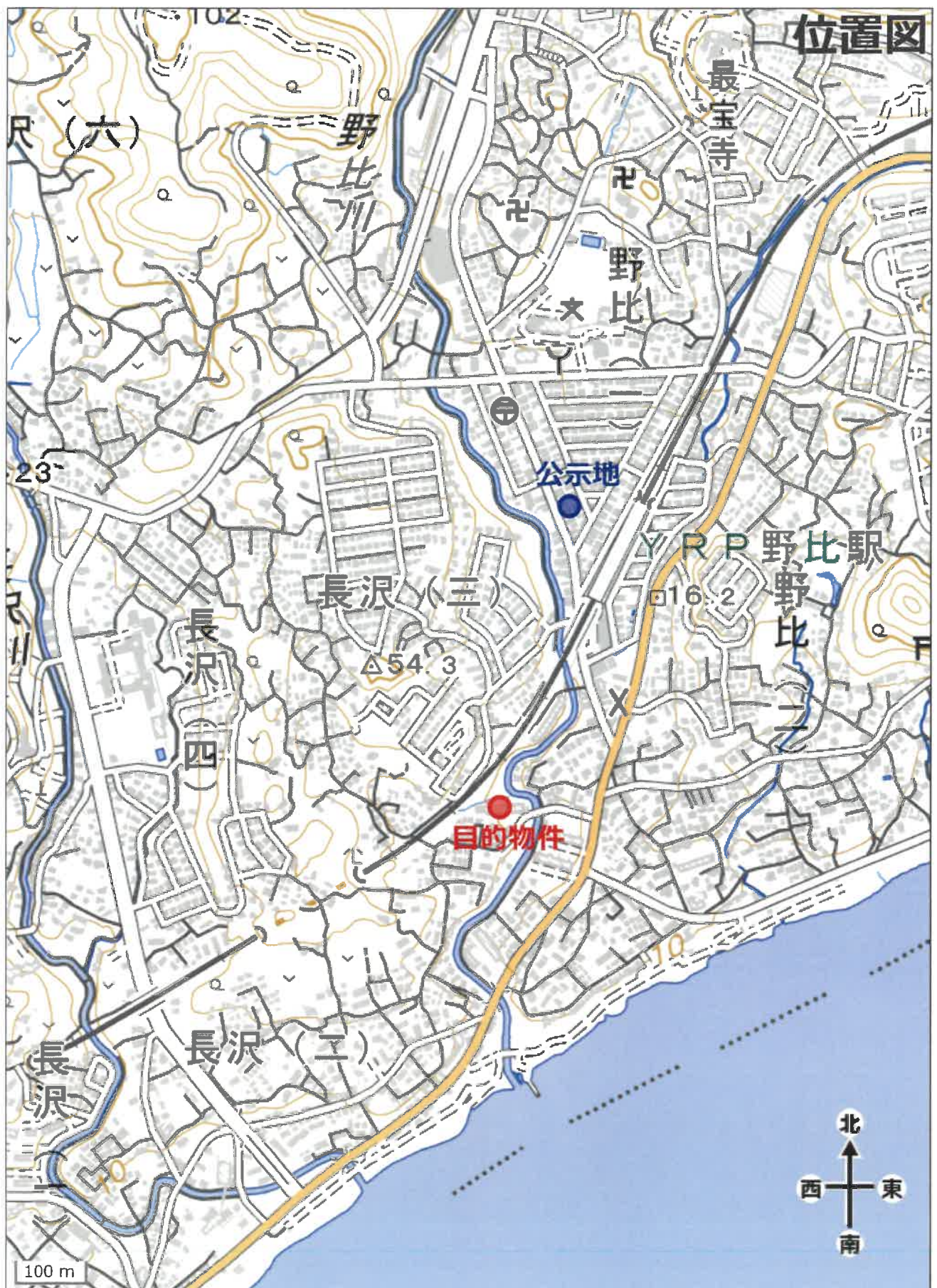
位置図

公図写（A 4 判へ抜粋）

建物図面写・各階平面図写（A 4 判へ縮小）

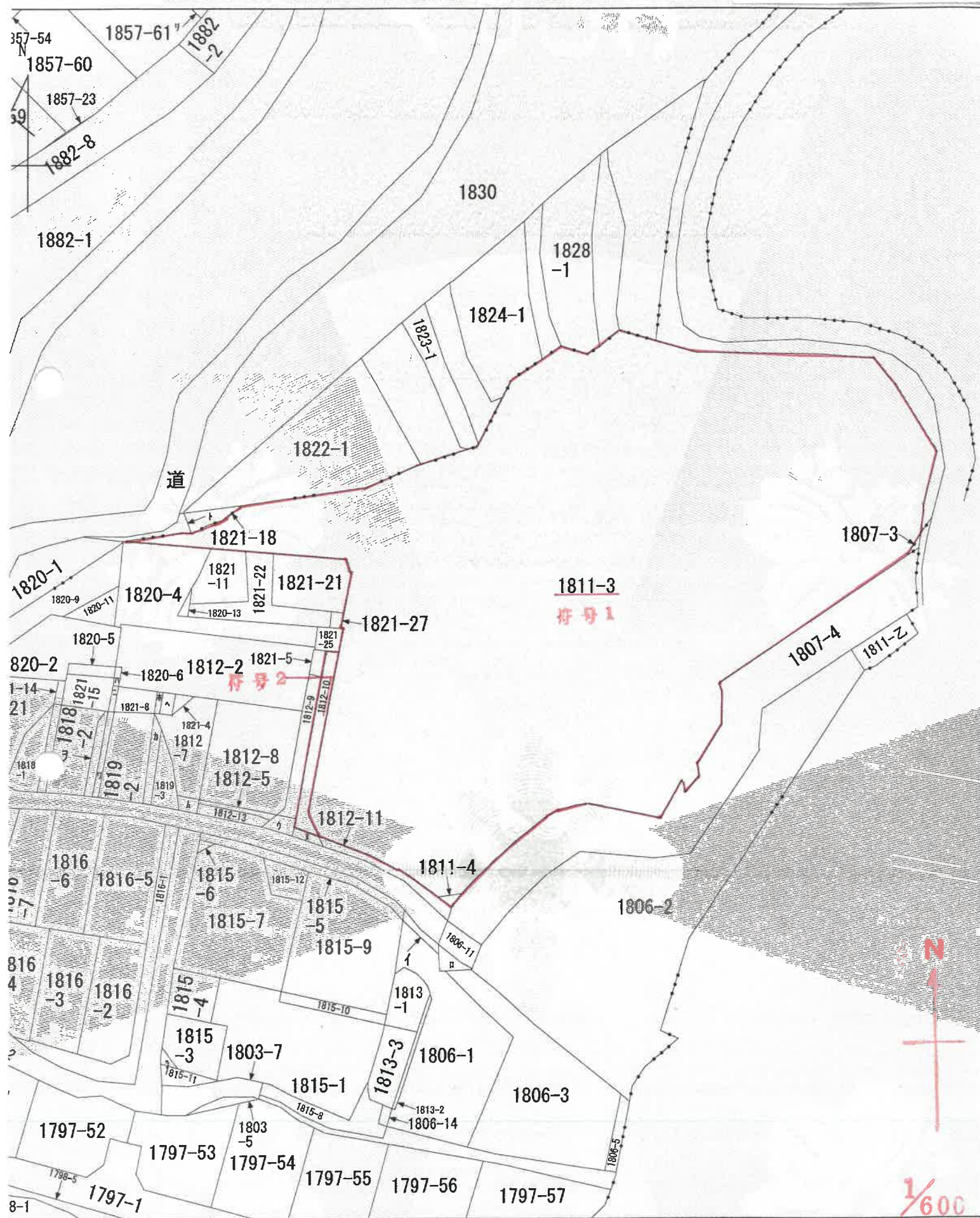
間取図

以 上



公 図 写

1806-10 ハ 1821-12 ホ 1821-17 ト 1820-15 リ 1878-4 ル 1818-3
 1806-9 ニ 1821-16 ヘ 1821-9 チ 1857-56 ス 1812-12 つ つく



292940

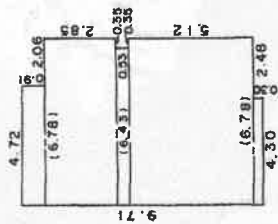
各階平面図

建築物各階平面図

家屋番号 181-30A501

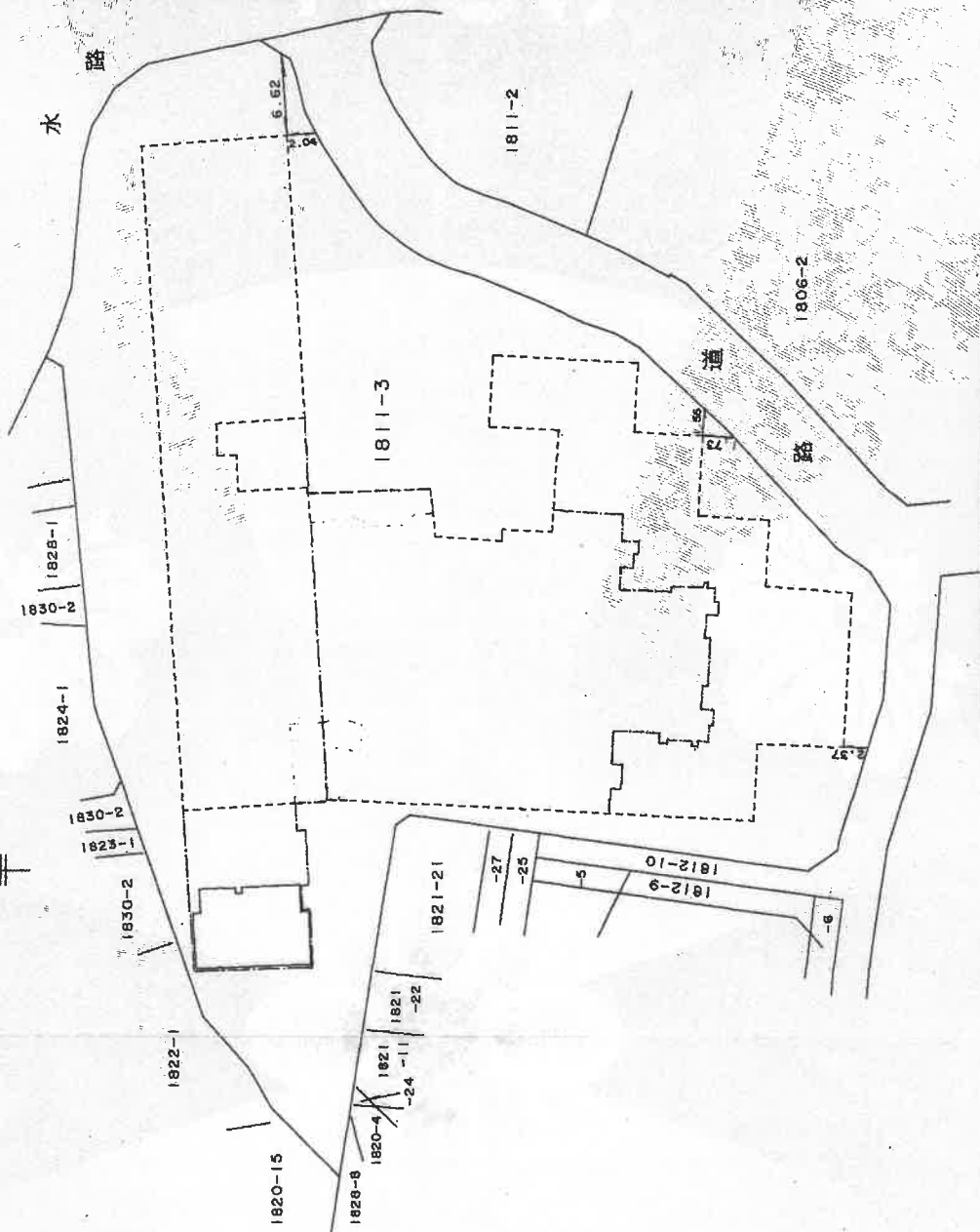
建物の所在 横須賀市長沢2丁目1811番地3

3階部分



※床面積※

0.910 × 4.720	=	4.295200
2.850 × 6.780	=	19.323000
0.530 × 6.430	=	3.407900
6.120 × 6.780	=	34.713600
0.300 × 4.300	=	1.290000
計		63.029700
		63.02



(長瀬町)

作

月18日作製)

縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

(日調表12)

